

2024年 夏季参加報告書

参加プログラム：ケント大学

参加時の学年：2年、学部：人文、学科：日本・東アジア文化

私の留学の目的は、英語力の向上、また小さい頃からの夢でもあった海外で生活をしてみることでした。幼い頃から英語が好きで、高校も英語科のある学校を選びましたが、コロナの影響で十分に経験することができませんでした。そして、今回約1ヶ月という短い期間ではありましたが、遂に叶えることができました。



留学生活は、非常に充実した貴重な経験になりました。初日にカンタベリーのダウンタウンを散策した際には、建造物の美しさと壮大さに圧倒されました。日本では見られない造りや精巧さに心を打たれました。また、その週末にはロンドンを訪れました。武蔵に留学に来ていたイギリス人の友人がロンドンに帰国していたので、案内してもらいました。まず、日本で出会った友人と彼の国で再会し、イギリスの歴史や文化について説明してもらえることが非常に嬉しかったです。また、MCVに通ったことがこうして実を結んだことが何よりも幸せでした。さらに、目に映るもの全てが新鮮で刺激的だったので常に興奮状態でした。

次に、留学で印象に残ったことは、人との繋がりで、私は今回イギリスで3人の武蔵への留学生と再会しました。日本以外の国に来て友人がいることの尊さ、また彼らが日本を好きでいてくれて、日本語の勉強を続けてくれていることがとても幸せなことだと感じました。国も言語も違う場所で、人と繋がりを持ち、会話をできることがいかに素晴らしいことかを体感しました。このような繋がりが私の人生において最高の財産になるのだと思いました。

さらに、私がこの留学で成長したことは、英語のリスニング能力と、自立する力です。勿論、毎日の授業は全て英語で、スピードも普段日本で受けているリスニングテストとは全く違う物でした。わからなくなる時もありましたが、先生の言う言葉をリピートして聞き返したり、理解しようとする努力をしました。カンタベリー大聖堂への校外学習では、現地のガイドの方の説明を受けながら見学するというものでした。専門的な言葉が使用されると、とても理解が難しく、質問をする場面ではなかなか考えつきませんでした。次に、生活面では、全て自分でやらなければいけなかったため、お金やスケジュール管理をするのが大変でしたが、自分の力になったと感じます。

私のこれからの目標は、将来英語を使用した職業に就くことが夢であるので、これからも英語学習に力を入れていくとともに、第二言語として履修している韓国語も習得することです。今回のイギリスへの短期留学で、私を日本人だと理解した時に、「こんにちは」など挨拶してくれた事に、とても愛を感じました。世界の人と繋がるために、言語を学ぶことの重要性を改めて感じました。その為に、日々努力をしていきたいと考えています。

